

令和6年度 京都府立大学 一般選抜試験（後期日程）
入学者選抜学力検査「外国語（英語）」（国際文化交流学科）

○解答例

1 (20点)

島国である日本は世界の他の地域に目を向けることが習慣づいている。それは数十年にわたり日本車や日本製電子機器を世界市場で支配的な立場においてきた日本の輸出文化に関しても当てはまることである。今日の人口減少と高齢化社会を抱えた日本において、海外で成功することはかつてなく重要になっている。

2 (20点)

感情を表現し、無意識下にあるものを表出させるための手段として機能する芸術の力はとてつもなく大きい。しかし、芸術に対する解釈はきわめて主観的な性格をもつということを念頭に置かならば、芸術家の精神状態や個人的な性向について鑑賞者が下す推論がどれほど正確で妥当なものであるのか疑問に付すべきである。

3 (35点)

問1 危害が及びかねないという認識から免れ、起こりうる脅威がどういったものか十分に理解し、それらの脅威を回避できると確信していること。

問2 (3×4=12点)

(2-1) ④

(2-2) ①

(2-3) ②

(2-4) ②

問3 人はどういった事物や人間を恐れるべきであるかをいくつかの異なったやり方で学習する。(7点)

問4 仲間や権威ある人物によってなされる警告もまた大きな影響力をもつ。(7点)

4

In this world of media abundance, one thing that everybody needs in order to filter the mass of information appropriately is the skill of critical thinking. Without this vital ability, people will be easily swayed in one direction or another.

The internet is a wonderful resource. However, it does have a great deal of unreliable information and so-called “fake news”. Critical thinking allows people to be more discerning about the information they receive and not simply take everything at face value.

Within critical thinking is the ability to be aware of opinions and to have an understanding that there can be as many opinions as there are people on the planet. In order to deal wisely with the mixed-quality overload of information, it is important to develop this key skill of critical thinking.